

塾人社 四択問題【理科2分野 天体 3】

設問 1	夜の星空を見たら、星は右下がりの方向に進んでいた。どちらの向きの空を見ているのか。	
選択肢	1	北の空
選択肢	2	西の空
選択肢	3	南の空
選択肢	4	東の空
正解		
解説		

設問 2	ある日の午後6時に北の空を見たら、ある星が見えた。しばらくして見ると、その星は先程の位置より90度、反時計回りに進んでいた。その時刻は何時か。	
選択肢	1	午後10時
選択肢	2	午後11時
選択肢	3	午後12時
選択肢	4	午後3時
正解		
解説		

設問 3	太陽が1日の動きの中で南中したと言うのはどの時か。	
選択肢	1	真南の空にきた時
選択肢	2	真南の空よりも西側に動いた時
選択肢	3	日の出の時
選択肢	4	日の入りの時
正解		
解説		

設問 4	太陽の南中高度が一年で一番低い日を何と言う。	
選択肢	1	洗濯物が乾かない日
選択肢	2	秋分
選択肢	3	冬至
選択肢	4	夏至
正解		
解説		

設問 5	地球の地軸は公転面に対して何度の角度を保っているか。	
選択肢	1	23, 4度
選択肢	2	66, 6度
選択肢	3	90度
選択肢	4	わからない度
正解		
解説		

塾人社 四択問題【理科2分野 天体 3】

設問 1	夜の星空を見たら、星は右下がりの方向に進んでいた。どちらの向きの空を見ているのか。	
選択肢	1	北の空
選択肢	2	西の空
選択肢	3	南の空
選択肢	4	東の空
正解		2
解説	北の空では、反時計回り。南の空では左から右へ大きな弧。東の空では右上がりに、星は流れて見える。ど基礎中のど基礎だね。	

設問 2	ある日の午後6時に北の空を見たら、ある星が見えた。しばらくして見ると、その星は先程の位置より90度、反時計回りに進んでいた。その時刻は何時か。	
選択肢	1	午後10時
選択肢	2	午後11時
選択肢	3	午後12時
選択肢	4	午後3時
正解		3
解説	星は1時間に15度回転する。つまり90度回転するには6時間かかることになるね。さらに北の空で反時計回りであるので、時刻は進んでいる。だから6時から6時間後の午後12時が正解だ。	

設問 3	太陽が1日の動きの中で南中したと言うのはどの時か。	
選択肢	1	真南の空にきた時
選択肢	2	真南の空よりも西側に動いた時
選択肢	3	日の出の時
選択肢	4	日の入りの時
正解		1
解説	太陽は一日の動きの中で、真南の空にきた時が、一番高度が高く、その高度を南中高度と言うのでしたね。季節により、この高度は違うんだよ。	

設問 4	太陽の南中高度が一年で一番低い日を何と言う。	
選択肢	1	洗濯物が乾かない日
選択肢	2	秋分
選択肢	3	冬至
選択肢	4	夏至
正解		3
解説	冬至はとうじと読む。逆に、夏至(げし)の日が、一番南中高度が高く、お昼の時間も一番長いんだよ。	

設問 5	地球の地軸は公転面に対して何度の角度を保っているか。	
選択肢	1	23, 4度
選択肢	2	66, 6度
選択肢	3	90度
選択肢	4	わからない度
正解		2
解説	この問題では、よく23, 4度と答える人がいる。23, 4度は公転面に対する垂線と地軸の間の角度です。テキストで必ず確認しておこうね。	